

こまっています! さんごみ

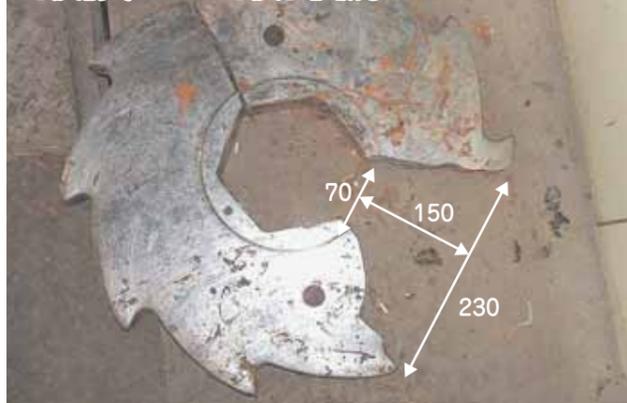
ビュークリーンおくえつからのお願い

「燃やせるごみ」は破砕機で細かくしてから処理をします。この「燃やせるごみ」の中に、「硬質ごみ（鉄アレイや金鎚のような硬いごみ）」が混ざっていると、破砕機の故障につながるとともに、作業員のけがの原因にもなります。最近、**混入された異物（下記写真）のために、3度破砕機が破損し、約1,200万円の修理費がかかっています。**この修理費もみなさんの税金でまかなわれることとなります。再度ごみの分類についてご理解いただき、「燃やせるごみ」の中に「燃やせないごみ」が混入していないか、必ずご確認くださいませようお願いします。

混入した異物



破損した破砕機の刃



欠落部 70×150×230 (mm)

ごみをステーションに出される場合、または、ごみをビュークリーンおくえつに持ち込まれる場合に、特にお願いいたします。

○1000円ライターやスプレー缶などの可燃性ガスが入っている物は、必ず使い切ってから出してください。収集車やゴミピット内で発火する恐れがあります。

○家電4品目（テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン）とパソコンは、持ち込まれてもお受け取りできません。（分解してあってもお受け取りできません）家電リサイクル法などに従って処分をお願いします。

○家の新築・増改築に伴って生じたごみ（材木、木くず、紙くず、畳など）は産業廃棄物となり、業者が処分する義務があります。持ち込まれてもお受け取りできませんのでご注意ください。

ビュークリーンおくえつ・エコパレは市民の生活に欠かせない大切な施設です。できるだけ長く使えるよう努力をしています。皆様のご協力をお願いします。

問 ビュークリーンおくえつ (☎66-6690)

- ### 市内各地区文化祭のご案内
- 平泉寺町文化祭
とき 10月28日(日)
ところ 平泉寺公民館 (☎88-0866)
 - 北郷町文化祭
とき 11月4日(日)
ところ 北郷公民館 (☎89-1001)
 - 村岡町文化祭
とき 11月11日(日)
ところ 村岡小学校・村岡公民館、中部幼稚園
 - 野向町文化祭
とき 11月11日(日)
ところ 野向小学校 (☎88-0265)
 - 北谷町文化祭
とき 11月11日(日)
ところ 北谷公民館 (☎83-1001)
 - 猪野瀬地区文化祭(公民館祭)
とき 11月18日(日)
ところ 猪野瀬公民館 (☎88-0313)
 - 鹿谷町文化祭(雪まつり)
とき 平成20年2月10日(日)
ところ 鹿谷小学校、鹿谷公民館 (☎89-2111)
- ※荒土町文化祭、三室まつり(文化祭)は10月7日に実施されました
※勝山地区各区分文化祭の日程は、勝山公民館(☎88-0800)へお問い合わせください



世界遺産への道のりを探る

白山文化フォーラム開催

平成13年から始まり、今年で7回目を迎えた「白山文化フォーラム2007」が、9月30日に行われました。勝山市と、福井県、石川県、岐阜県、白山市、郡上市の3県3市では、「霊峰白山と山麓の文化的景観」の世界遺産暫定リスト入りを文化庁に共同提案しています。今年1月に継続審議となったことから、白山として平泉寺の世界遺産への道のりについて、参加者とともに考えました。

美しさに感嘆

当日の午前中に行われた第一部「平泉寺史跡見学会」では、あいにくの雨模様の中、石川からのツアー客40名を含む、約100人が白山神社境内や南谷発掘現場を見学して回りました。市の学芸員から、泰澄の伝説や平泉寺の歴史の説明を聞きながら、参加者らは、境内一面に広がる見事な苔と杉並木、発掘現場の石畳を見て、驚きと感動を受けた様子でした。(表紙) 金沢市から参加した多賀さん(女性59歳)は、「発掘現場の石畳道は熊野古道よりも良いと思いました。用水が隣に流れて雰囲気が残っていて気持ちよかったです。平泉寺は20年ぶりに訪れましたが、発掘現場も含めると、こんなに広いとは思いませんでした。」との感想を語ってくれました。



1階ロビーでは白山写真展があり、2階では平泉寺の出土品紹介とアニメ「平泉寺物語」の上映が行われました。

三馬場は独自に発展

午後からは会場を教育会館ホールに移して、「市民フォーラム」が行われ、市内外から約170人が参加しました。

最初に、金沢学院大学の東四柳史明教授が「白山の歴史文化と世界遺産」と題して講演を行いました。

このなかで、東四柳教授は「三馬場はそれぞれ、身近な地域から白山信仰を全国に広めており、独自に発展していったと考えられる。三馬場が協力したという史料はなく、これこそが白山信仰の特徴である。また、山岳信仰だけでは、世界遺産の紀伊山地との違いを出せないため、白峰地方の大壁造りなど山麓の暮らしを含めて登録を目指す必要がある。」と語っていました。

また、今年の12月には、再度、文化庁への提案を予定しています。

雪がキーワード



その後、「世界遺産への道のり」をテーマとしたフォーラムでは、山岸市長らがパネラーとして参加しました。世界遺産への課題について市長は「このような豪雪地帯に昔から多くの人が住んでおり、世界から見ても独自の精神文化や食文化を残している。雪との共生がキーワードになるのではないかと、自らの考えを紹介しました。

また、資産の構成範囲の見直しについて、「人々の暮らしという観点から、美濃禅定道の一部が通る大野市にも協力をお願いしていきたい。」と、資産範囲を拡大する必要性を強調しました。

意見交換会では、「白山の文化と自然の両方を兼ね備えた『複合遺産』として申請してはどうか。」という意見に対し、東四柳教授は「ハードルはより一層高くなるが、もっと白山の自然を強調してもいいと思っている」と、新たな方向性に賛意を示しました。